

福集協発第 94 号
平成17年7月15日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
福岡県集団検診協議会
会長 竹 嶋 康 弘



肝炎ウイルス検診について

肝炎ウイルス検診が基本健康診査時に併せて施行され、3年が経過しました。福岡県内では、推定30%しか受診されていません。この事業は、平成19年3月末までの制度であります。当初より基本健康診査との併施のために専門医のみで検診を行っているわけではなく、C型肝炎と判明しながら精密検査を受けない方（放置されている方）の問題が指摘されておりました。

しかし、改善は見られず、平成17年7月7日に開催いたしました平成17年度第1回肝臓がん検診部会委員会において最重要課題として取り上げられました。

ウイルス検診は、他の集団検診と違い、がんの早期発見ではなく、肝炎ウイルス陽性者のウイルス排除による肝がん発症予防を目的としていることから、従来の検診システムの概念を転換する必要があります。

そこで、肝臓がん検診部会委員会において、会員全員にこの問題点を認識してもらい、陽性者が必ず一度は専門の医療機関を受診し、治療法の選択や経過観察の頻度等をアドバイスいただくような、病・病、病・診連携のシステムを作るため、今後数年間、肝臓がん検診再精密検査実施医療機関より医療機関を選定し、陽性者をその選定医療機関へ紹介するというを行うことが提案され、7月14日開催の全会第11回全理事会において承認されました。

つきましては、貴職におかれましても、本件についてご理解賜り、肝炎ウイルス検診システム作りにご協力いただきますようお願いいたします。

なお、

- 1) 肝臓がん検診再精密実施医療機関へ、別紙のとおり通知し、8月10日の肝臓がん検診部会委員会において、医療機関の選定を行う予定にいたします。
- 2) 指定医療機関が決まりましたら、改めて各医師会へご連絡いたします。



福集協発第 92 号
平成17年7月15日

肝臓がん検診

再精密検査実施医療機関長 殿

福岡県集団検診協議会

会長 竹 嶋 康 弘

肝炎ウイルス検診について

肝炎ウイルス検診が基本健康診査時に併せて施行され、3年が経過しました。この事業は、平成19年3月末までの制度であります。当初より基本健康診査との併施のために専門医のみで検診を行っているわけではなく、C型肝炎と判明しながら精密検査を受けない方（放置されている方）の問題が指摘されておりました。

しかし、改善は見られず、平成17年7月7日に開催いたしました平成17年度第1回肝臓がん検診部会委員会において最重要課題として取り上げられました。

そこで、会員全員にこの問題点を認識してもらい、陽性者が必ず一度は専門の医療機関を受診し、治療法の選択や経過観察の頻度等をアドバイスいただくような、病・病、病・診連携のシステムを作るため、今後数年間、医療機関を選定し、陽性者をその選定医療機関へ紹介するというを行うことが提案されました。

つきましては、指定医療機関を肝臓がん検診再精密検査実施医療機関より選定したいと思いますので、貴医療機関における平成15・16年度のインターフェロン治療の件数を別紙により7月29日（金）（必着）までにご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、期日までに回答がない場合は、選考の対象となりませんので、ご留意願います。

福岡県医師会地域医療課 行
(FAX092-411-6858)

肝炎ウイルス検診

※インターフェロン治療件数

年度	件数
平成15年度	件
平成16年度	件
計	件

平成17年 7月 日

住 所 _____

医療機関名 _____

記入者氏名 _____